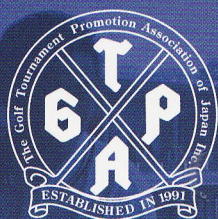


# JGC

JGC公認

## ジュニア ステップアップ プログラム

Junior Step-up Program



GTPA/社団法人日本ゴルフトーナメント振興協会



JGA/財団法人日本ゴルフ協会

### JHSGA

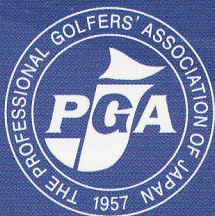
JHSGA/全国高等学校ゴルフ連盟

### JGRA

JGRA/社団法人全日本ゴルフ練習場連盟



LPGA/社団法人日本女子プロゴルフ協会



PGA/社団法人日本プロゴルフ協会

### NGK

NGK/社団法人日本ゴルフ場事業協会



JGTO/社団法人日本ゴルフツアー機構



JGGA/社団法人日本ゴルフ用品協会

### PSG

PSG/社団法人日本パブリックゴルフ場事業協会

# 育てよう！明日を担うゴルフ

## 日本で 唯一の 公式ジュニア 検定制度

JGRA (全日本ゴルフ練習場連盟) では、JGA (日本ゴルフ協会)、PGA (日本プロゴルフ協会)、LPGA (日本女子プロゴルフ協会) JGTO (日本プロゴルフツアー機構) 等のゴルフ10団体により結成されたNPO法人JGC (日本ジュニアゴルファー育成協議会) の要請により、ジュニアゴルファーの検定制度の構築を図ってまいりました。従来からJGCの活動理念に賛同し、ジュニアゴルフの「安・近・楽」(下記参照) を提案しジュニアの登録制度を普及してきましたが、このたび平成17年8月2日にハイランドセンターに於て実施した、第1回検定会の成功により、JGCから公式にこの制度を公認するとの決定が下されました。ここに、ゴルフ10団体により結成されたJGCにより公認された、日本で唯一のジュニア検定制度が誕生しました。この制度は、JGC構成団体であるJGRAが主管することとなり、実施するための要件として、その練習場が、JGRAに加盟していることが、条件であるということも併せて決定されました。これによりJGCにより公認された日本で唯一の公式ジュニア検定制度を実施する為には、JGRAに加盟していることが前提となります。



## 「ジュニアステップアップ制度」実施練習場の普及



JGRAでは、まず関東の練習場にこのプログラムを導入する為、平成17年1月に検定委員講習会、続く3月には検定制度認定事業所認定会を実施し、関東の17場の練習場でこの制度が稼働しはじめました。8月2日には、ハイランドセンターに於て第1回検定会を実施し、続く9月19日には、おおむさきゴルフコースにてゴルフ場に於ける初めての検定会が行われ、併せて実施運営の見直しが行われました。10月11日には、再びハイランドセンターにて検定委員講習会、事業所認定会が行われ新たな仲間も増えております。平成18年より全国に向け制度の普及活動を推進しております。

JGRA (社) 全日本ゴルフ練習場連盟はジュニア育成の「安・近・楽」を推進し、ジュニアステップアップゴルフ制度の普及に努めます。



**安**

安全・安心・安価

子供たちが、安全に・安心して・負担のかからない値段で、白いボールの練習ができる環境を提供いたします。

**近**

子供たちの生活の近くに

学校・塾・習い事、いまどきの子供たちは忙しいんです。そんな子供たちの毎日の生活のそばに、白いボールが打てる環境を提供致します。

**楽**

ゴルフは楽しいよ!

楽しくなければ続かない。子供たちがゴルフに楽しく意欲を持って取りこめる学習環境を提供致します。

# 一を!

# JGC

公認/NPO法人日本ジュニアゴルファー育成協議会  
主管/社団法人 全日本ゴルフ練習場連盟

# ?

## What is this system?



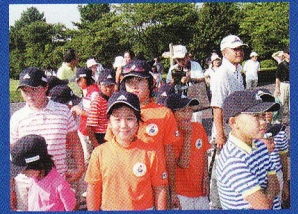
# 検定制度ってなに!?!.....

※本制度は指導者を認定するものではありません。検定委員とは、検定会において検定を実施するスタッフの呼称です。

## ゴルフを通してライフスキル(生きる力)を備えた ゴルファーの育成を

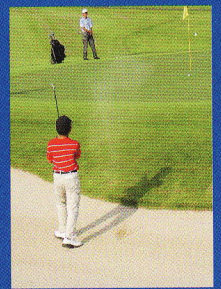
### 「検定制度、単なる級制度だろう!」

こんなお言葉を頂戴することが多いのですが、この制度は、実技だけの検定制度とは違います。JGCの活動理念に即し、ゴルフとの出会いから、生きる力と価値感を備えたゴルファーとなるまでの、新しいジュニアゴルファーの世界を創造することを目標に構築されました。実技と相関するペーパーテスト、このテストも落とすためのテストではありません、各練習場でテストを通してゴルフのルール、マナーを学んでもらう為のツールなのです。テストの内容が解っているだけじゃダメ、実技試験の際に、解っていることが、実際のプレーの際に出来ているのか、プレー専用の検定シートにより検定します。



## 三世代が一緒にプレーすることが あたりまえとなるプレースタイルの提案

とあるゴルフ場の関係者から聞いた、「ジュニアを受け入れたいんだが、どんなジュニアを受け入れたいのか判らないだね。」この一言がヒントでした。この検定制度が提案するものは、ジュニアにとっては、生きる力を学び、広大なゴルフ場でゴルフを体感出来る機会の提供であり、練習場からするとジュニアゴルファー育成のメソッドであり、導入により練習場の活性化が期待出来ます。受け入れるゴルフ場にとっては、検定の級は、技術とマナーを備えた、受け入れてもいいジュニアゴルファーか否かを判断する判断基準となります、また検定基準の取得級レベルのプレースタイル(7級取得者であれば、グリーン手前80ヤードあたりにてティーオフ)を認めることは、お爺ちゃん・お父さんはレギュラーティーから、お母さんはレディスティーから、お孫さんはグリーン手前からそれぞれティーオフし、アプローチ、パターは一緒に出来るという両親、祖父母を含めた三世代が一緒にプレーする、新しいゴルフのプレースタイルの提案につながります。検定制度を導入する練習場の参加とともに、検定制度が提案する新しいプレースタイルを受け入れて頂けるゴルフ場の協力とご理解が今後の課題です。



## ゴルフ場とゴルファーの皆様のご協力を

本制度の普及、定着の為の両輪が、検定制度を導入する練習場の仲間作りとゴルフ場の皆様のご協力です。いくら検定制度を実施する練習場が増えても、検定会を実施させていただけるゴルフ場がなければ実施出来ないのがこの制度です。また、練習場でルールマナーを身に付け、その年齢、体力でプレーできる力量を検定会でクリアし、級を取得したジュニアが増えても、プレーさせていただけるゴルフ場が増えていかなければ、せっかく級を取得したジュニアがその技量を試す場がありません。三世代ゴルフの提案も絵に描いたもちとなります。本制度普及の為には、皆様のご協力が是非とも必要であります。また、この制度の検定基準を応用しジュニアを受け入れる際のポイントは、単に大人の料金をディスカウントしたジュニア割引金を設定するだけでなく、ジュニアの年齢、力量に合わせたバラエティに富んだ料金設定が望ましいと考えます。検定制度の検定基準のように、グリーン手前30ヤードからティーオフするプレースタイルや、アフタヌーン3ホールプレーなど子供達の体力、力量に合わせたプレースタイルの容認、料金設定など、それぞれのゴルフ場様の状況に合わせたジュニア割引制度をご提供頂けましたら幸いです。皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

